

目 次

「郷土資料室」に対する2,3の提言
「図書館は今...」
ネットワーク社会と大学図書館
ミニシリーズ情報検索コーナー その5
(Current Contents フル・セクション)
本学教官著作寄贈図書
中小コレクション
電気通信普及財団寄附金購入図書
利用状況
平成10年度図書館カレンダー(その2)

「郷土資料室」に対する2,3の提言

尾 崎 繁

1. はじめに

図書館2階の一角に、鳥取県を中心に郷土関係の資料を集めた「郷土資料室」がある。利用するときには、1階カウンターで記録簿に記帳してから部屋のキーを借り、退室するときにはロックしてキーを戻す。中の資料はすべて貸出禁止、利用時間は17時までとなっている。

私も時どき利用しているが、他の利用者と鉢合わせしたことはめったにないから、利用者はそう多くはないと思っている。せっかくのスペースを持ちながら、これではもっ体ない。利用者が少ないわけを探りつつ、利用率向上のための提言を2,3取りまとめてみた。事実誤認や思い違いの点があるときは、ご容赦願いたい。

2. 部屋の名称

いま部屋名に冠している「郷土」とは「鳥取県」のことを指しているので、鳥取県出身の学生にとってはたしかに「郷土」である。しかし、他県の出身者にとって鳥取県は「異郷」であるから、部屋の名称を聞いただけですぐに郷土=鳥取県と結びつかないと思うし、「郷土」はなんとなく排他的な印象を与

えているのではなからうか。

名称変更案として「鳥取地域」「鳥取地域文化」「鳥取地域史」などを思いついた。この資料室に関心を持ってもらうために、親しみのある名称を学内公募するの一案である。なお、名称問題はあとでふれる資料整備の重点をどこに置くかという、将来計画とも係わりが深い。



3. 資料および関係者の検索システム

現存する資料は大別すると鳥取大学関係、鳥取県・市町村関係および各種公共機関による定期、不定期刊行物、個人出版物、古文書、地図類などである。近年、公共の図書館や資料館の整備が進んでいるので、この資料室でなければ見ることができないという資料は、ほとんどない。しかしながら、身近にあることがなんといっても強味で、ここで目的のテーマについて手がかりをつかむのには便利である。

問題はこれからあと、さらに広く深く資料を検索したり、関係者を紹介してもらうためのシステムが

整っていないことである。モノをさがすよりもヒトをさがして話を聞くことの重要性は、今後ますます強まるものと考ええる。

4. 資料整備の重点方向

狭い鳥取県内だけでもすべての出版物を集めることが、人的にも経済的にも容易でないことはよくわかる。勢い寄贈資料に頼りがちとなって基本的なものを見逃したり、時期を逃がして定期刊行物の入手ができずに欠号が生じたりする。どの範囲のものを収蔵するかは図書館に検討していただくことであるが、基本的なもの以外は県立図書館や同公文書館にまかせて、こちらは前記の検索システムを整備するの方向である。

その代りというわけではないが、こと鳥取大学に関する資料は細大もらさず徹底的に収集して整理・保存する体制をとってはどうか。これなら身内のことであるから収集は比較的やりやすい（とはいっても、先般すでに19号を数える農学部同窓会報が収蔵されていないことを発見したので、油断はならないが）。近く鳥取大学創立50周年記念誌が刊行される。作成の過程で全学から膨大な資料が集められると思うので、使用・未使用にかかわらずこれらも併せて保存・活用できるようにしたいものである。

鳥取大学の学生が、鳥取大学のことを余りにも知らなすぎる現実を見るにつけ、整備のあかつきには「鳥取大学歴史資料室」「鳥取大学の歩み資料室」などとして、一人でも多くの学生が足を運んでくれることを期待したい。

5. 資料散逸の防止法

私はちょうど10年前の『図書館報』61に「石碑めぐり雑感」と題して寄稿する機会を得た。その中で地域の諸資料を熱心に集めている人が亡くなると、それらの資料もいつしか散逸してしまうことが少なくないことを指摘し、その収集・保存対策を講じる必要があることを述べた。これと似たような事態が今春の私自身の退職時にも起こってきた。

43年間の私の在職中に集めたり、集まった資料は、農業経営や経済関係の仕事をしてきた関係と、印刷しか記録保存手段がなかった時代のものが多いため、かなりの量になってしまった。到底わが家では収蔵できない量である。そこで、できるだけ身軽になるため、利用してもらえそうなものは半ばムリやりに知人にプレゼントしているが、これにも限界がある。この時期多かれ少なかれ繰り返されている光景だと思うが、この「資料室」で受け入れ体制を取っていただければ、それなりの対応もできそうに思う。

6. おわりに

「郷土資料室」の話にかこつけて、最後は資料の山に埋もれて途方に暮れているわが身辺のことになってしまった。一つの資料をめぐって、そのつど捨てるべきか残すべきか迷ったすえの積み重ねがいまこの状態である。ここまで来た以上は、可能なかぎり散逸をくい止め、あとに悔いを残さぬよう努めるほかはないと思っている。

(名誉教授)

《お願い》

郷土資料の出版情報をお知らせください。



郷土資料室の入口にあるノートに、鳥取および山陰地方に関する出版物の新刊情報、そして本学の郷土資料室に備えるべき資料としてふさわしいものを記入してください。

特に、自費出版物、非売品についての情報（編著者、書名、出版者、出版年、価格、取扱書店、寄贈申込先など）をお知らせください。

「 図 書 館 は 今 ... 」

松 田 實

この4月、新入学生と共にキャンパスに足を踏み入れてから早くも5ヶ月が過ぎ去ろうとしている。

図書館周辺の、楓、黒松、楠、樺、ヒマラヤ杉、モミジパフー等の大樹の葉はまだ小さく柔らかな緑であったが、強く濃い緑色となり図書館周囲を覆い暑い日射しを遮ってくれている。図書館の位置もキャンパスのほぼ中心にあり立地条件や周囲の環境は大変に恵まれている。

さて、図書館の中はどうか。私は図書館勤めも長くなるが、今だに初めて入る図書館を目の前にすると緊張する。ドキドキしながら一步入ると正面いきなり目にとびこんでくるのが軸物と彫像である。左手には数台の端末が並んでおり学生が画面を見つめている。チョットアンバランスで面白い雰囲気を感じた。建物は2度に亘る増築のために繋ぎ合わせの感はいなめない。資料については、やはり師範学校や農林専門学校の資料が蔵書の基礎となっており蔵書群の重みを感じさせる。

この図書館を利用者はどのように感じて利用しているのか気になるころであったが、偶然学外で本学の院生と話す機会があり、図書館の利用を尋ねたところ論文作成間近にも関わらず、図書館をほとんど利用したことがないと言う答えであった。わずか一人の声ではあるが、少なからずショックを受けた。そんなに魅力がないのか。利用できる資料や情報が貧弱なのか。

当館にかぎらず、利用者の声を聞くとよく専門図書や雑誌が古く少ない、施設や設備が古い等々の声が多い。そこで、今当館は国立大学の中でどのあたりに位置づけられるのか数値で探してみたい。

以下は同規模大学のCクラス(2~4学部)と全国立大学との比較である。資料は平成9年度大学図書館実態調査結果報告(文部省)による。

・職員数

| | 専任 | 臨時 | 計 |
|--------|-----|-----|-----|
| 当 館 | 20人 | 13人 | 33人 |
| Cクラス平均 | 15 | 12 | 27 |
| 国立大学平均 | 24 | 16 | 40 |

・面積

| | |
|--------|-------|
| 当 館 | 6,342 |
| Cクラス平均 | 5,932 |
| 国立大学平均 | 8,942 |

・閲覧座席数

| | 総座席数 | 教員用(内数) |
|--------|------|---------|
| 当 館 | 522席 | 3席 |
| Cクラス平均 | 405 | 14 |
| 国立大学平均 | 641 | 22 |

・書架収容力

| | 収容可能冊数 |
|--------|----------|
| 当 館 | 484,757冊 |
| Cクラス平均 | 492,463 |
| 国立大学平均 | 796,449 |

・蔵書数

| | 図 書 | 雑 誌 |
|--------|----------|---------|
| 当 館 | 578,097冊 | 10,175種 |
| Cクラス平均 | 539,622 | 8,203 |
| 国立大学平均 | 846,628 | 13,152 |

・資料受入数

| | 図 書 | 雑 誌 |
|--------|--------|--------|
| 当 館 | 7,975冊 | 5,827種 |
| Cクラス平均 | 12,067 | 4,264 |
| 国立大学平均 | 21,950 | 6,005 |

・視聴覚資料・機器所蔵数

| | 全所蔵数 | 全保有台数 |
|--------|-----------|-------|
| 当 館 | 1,364タイトル | 28台 |
| Cクラス平均 | 5,038 | 26 |
| 国立大学平均 | 5,645 | 38 |

・図書館資料費

| | 総資料費 | 図書館経費に占める割合 |
|--------|-----------|-------------|
| 当館 | 148,114千円 | 42.3% |
| Cクラス平均 | 146,345 | 48.1 |
| 国立大学平均 | 224,086 | 46.6 |

・図書館運営費

| | 総運営費 | 図書館総経費に占める割合 |
|--------|-----------|--------------|
| 当館 | 201,617千円 | 57.6% |
| Cクラス平均 | 157,842 | 51.9 |
| 国立大学平均 | 256,887 | 53.4 |

・開館日数

| | 年間開館日数 | 土曜開館 | 日曜開館 |
|--------|--------|------|------|
| 当館 | 263日 | 34日 | 5日 |
| 中央館 | 276 | 36 | 0 |
| 医分館 | 262 | 34 | 25 |
| Cクラス平均 | 262 | 34 | 25 |
| 国立大学平均 | 257 | 36 | 35 |

・館外貸出サービス

| | 教職員 | 学生 | 学外者 | 合計 | 一日平均 |
|--------|--------|---------|------|---------|------|
| 当館 | 1,262人 | 38,903人 | 120人 | 40,285人 | 154人 |
| 中央館 | 3,254 | 10,951 | 0 | 14,205 | 51 |
| 医分館 | 4,145 | 25,784 | 190 | 30,119 | 115 |
| Cクラス平均 | 4,276 | 18,839 | 287 | 23,402 | 91 |
| 国立大学平均 | | | | | |

・参考業務

| | 利用件数 | 情報検索サービス(左の内数) |
|--------|--------|----------------|
| 当館 | 3,940件 | 434件 |
| 中央館 | 7,619 | 3,317 |
| 医分館 | 11,476 | 4,295 |
| Cクラス平均 | 5,049 | 1,520 |
| 国立大学平均 | | |

・文献複写

| | 利用件数 |
|--------|---------|
| 当館 | 21,774件 |
| 中央館 | 52,108 |
| 医分館 | 15,260 |
| Cクラス平均 | 18,262 |
| 国立大学平均 | |

・相互貸借

| | 図書・雑誌の貸借 | | 文献複写 | |
|--------|----------|------|--------|--------|
| | 貸出 | 借受 | 受付 | 依頼 |
| 当館 | 301冊 | 147冊 | 1,896件 | 6,824件 |
| 中央館 | 6 | 39 | 6,562 | 5,479 |
| 医分館 | 148 | 133 | 2,929 | 2,686 |
| Cクラス平均 | 137 | 119 | 2,905 | 2,161 |
| 国立大学平均 | | | | |

以上数字の上での比較ではあるが、当館の位置や課題の一端がおぼろげながら見えてくるのではないだろうか。

当館の課題についてはすでに問題点の洗い出しがなされ、解決・改善へ向けて「評価委員会」「電子化対策委員会」「蔵書計画専門委員会」「建物専門委員会」等々を立ち上げ、取組がなされてきているところである。しかし、各課題とも短時間で改善できるものでなく、また図書館自身の努力はもちろんであるが、やはり全学の理解と協力を得なければ解決できない事柄ばかりである。

多くの課題を抱えてはいるが、心強いことに当館は優秀な職員が揃っている！！。

(情報管理課長)

ネットワーク社会と大学図書館

末次美知夫

最近の大学を取り巻く環境の変化のひとつに学術情報ネットワークの整備がある。この我々に与える影響力は、まさに革命とでも言うべき可能性を秘めているのではないかと私は考えている。

ひとつは、ネットワークの整備が、情報のやりと

りに関して距離の壁を打破することである。

机上のパソコンに向かい電子メールのやりとりをする。またWWWブラウザの画面をクリックする。相手先が同じ大学内であろうと何千キロ離れた外国であろうと、これらの間にはただ待ち時間の差があ

るだけであり、質的な違いは感じられない。

情報が物と同様に輸送により行われる状況では、交通の利便性、地域性は情報の入手に関して大きな制約となる。例えば、外国雑誌を船便で入手することによる情報の遅れといったことがその典型といえる。

電話、FAXが我々の社会に与えた影響も大きい。ただ、電話は音声のやりとりしかできない。FAXは紙面の送付しかできない。これに対し、近年のネットワークでは、音声、文字、画像、動画など多様な内容が多量にやりとりできる。

学術情報の流通に関しても、そのかなりの部分がネットワークにより可能になるはずである。このような状況では、例え、東京にしよう、New Yorkにしよう、また山陰の風光明媚な鳥取にしよう、情報の発信、入手に関しては、条件は同一である。地理的な制約は障害にはならないし、また言い訳にもならなくなる。

次に、学術情報の流通媒体の変化である。従来、学術情報は紙に印刷され、印刷物として物と同様に輸送により流通してきた。最近では、インターネットなどのネットワークにより流通する例が増えてきている。ネットワークによる流通は、「紙」に比べ、速報性、手間、費用等の点でメリットがあり、前者に取って代わりそうな勢いで普及しつつある。

印刷術、活版印刷術、複写機などの一連の発明は人類歴史の節々で情報やその流通方式を変革してきた。ネットワークの発明は、紙を離れるという意味で、それらに勝る質的な変革であり、学術研究社会のあり方を根本的に変容させる可能性を秘めている。

テレビ、ラジオが社会に与えた影響は我々の知るところである。ただマスメディアは、我々個人が自由に情報を流通させる媒体として利用することは困難である。最近では衛星放送等を利用した「放送大学」の試みはあるが、情報の発信者に誰もがなれる訳ではない。もともと学術情報の流通はある意味で特殊社会内部での流通であり、大衆社会に対する一方的な情報発信といった意味を持つマスメディアに載る性格のものではない。

これに対し、ネットワークは、例えば、誰もが気

軽にインターネット上にホームページを開き、自分の好きな情報を不特定多数に対し自由に提供することができる。誰もが自分専用の「出版社」、「放送局」を持っているようなものであろう。

このような状況は、学術情報を収集し、整理し、これを迅速に提供する使命を持った大学図書館に大きく変容を迫るものである。図書館とは、本来、図書に盛られた「知識」館という意味であろう。図書館が「図書」館だけであり続けると、語弊はあるが古代知識の博物館となってしまうおそれがある。

最近、大学図書館では「電子図書館」への対応が共通の課題となり、様々な試みが行われている。本学図書館でもその取り組みを開始したところである。現在のところ、図書館ホームページの整備、蔵書目録の電子化とネットワークによる提供(OPAC)、CD-ROMサーバによる Current Contents 7 Sections や MEDLINE の提供、医学部分館における Yonago Acta medica の電子化等がその主な内容である。本格的な取り組みのためには、ハード・ソフトの整備、要員の確保、経費の確保、大学での協力体制の整備など様々な問題がある。現在、図書館委員会や電子化対策専門委員会等で検討をして頂いているところである。

鳥取大学としての将来計画、構想が必要となろうが、まず取りかかれる所から着実にやり遂げていくことが何よりも必要でないかと考えている。微力ながらも出来る限りの努力をしていく所存です。

(情報サービス課長)



ミニシリーズ・情報検索コーナーより その5

Current Contents フル・セクションの提供を始めました

図書館では、本年度の教育改善推進費により、8月から下記のフル・セクション（7 Sections）のネットワーク提供を開始いたしました。

農学, 生物学, 環境科学 (Agriculture, Biology & Environmental Sciences)

工学, コンピュータ工学, 技術 (Engineering, Computing & Technology)

物理, 化学, 地球科学 (Physical, Chemical & Earth Sciences)

社会, 行動科学 (Social & Behavioral Sciences)

芸術, 人文科学 (Arts & Humanities)

生命科学 (Life Sciences)

臨床医学 (Clinical Medicine)

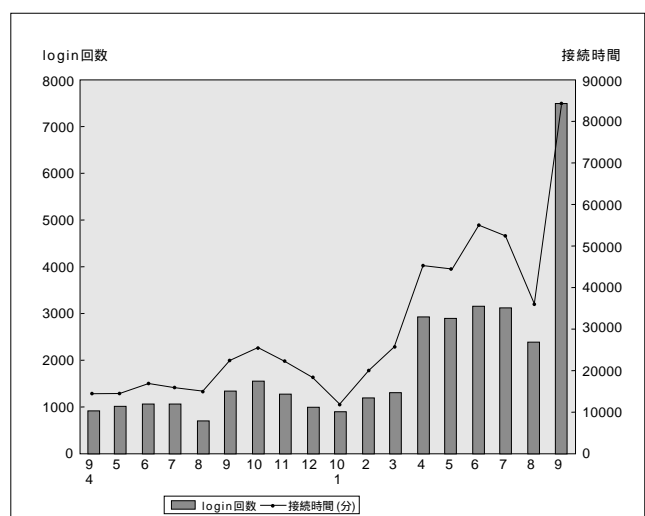
Current Contents は、最新の網羅的な学術雑誌目次速報（収録誌約 7,400 誌、年間収録件数約 100 万件、多くは抄録付き）であり、ほぼ全分野にわたる

最先端の学術論文情報（二次情報）の検索が可能になりました。データは毎週更新し、1996年から現在までの全セクションのデータが蓄積され、本学構成員の誰もが、何時でも、学内のどこからでも、自由にアクセスし利用できます。9月からWWWブラウザからの検索（WebSPIRS）も可能になりました。検索ソフトのインストール等は不要で、図書館ホームページの「カレントコンテンツ情報」のページから入ります。（未登録の方でも Login 画面に表示してあります Username を使って Login すれば検索できます。）電子的 2 次情報資料のネットワークによる提供は、21 世紀にふさわしい本学の研究者全体の研究環境の向上を意図しておりますが、今後の安定的な供給体制の整備に向けて、是非とも全学のご理解とご支援をいただきたいと思っております。

WebSPIRS の検索画面



Current Contents 利用統計（平成 9 年 4 月～平成 10 年 9 月）



本学教官著作寄贈図書

(平成9年9月～平成10年8月受入分)

この度は次のように寄贈していただきました。ありがとうございました。本学教官著作寄贈図書コーナーに配架し、利用に供しています。

(寄贈者名のABC順。所属等は平成10年9月1日現在)

| 頭文字 | 寄贈者名・所属等 | 書名 | 発行所名・発行年 | 備考 |
|-----|--------------------|---|-------------------------------|----|
| A K | 赤木三郎 (元教育学部) | 鳥取の自然をたずねて (日曜の地学 23) | 築地書館 1997年6月 | 編著 |
| I K | 池本洋一 (元教育学部) | 教育現場のパソコン活用法 | 理工学社 1997年8月 | 編集 |
| K O | 甲元啓介 (農学部) | Molecular genetics of host - specific toxins in plant disease. | Kluwer Academic Pub. c1998 | 編者 |
| K O | 甲元啓介 (農学部) | Host - specific toxin : bio - synthesis , receptor and molecular biology. | Tottori University. c1994 | 編者 |
| N I | 西田良平 (工学部) | 鳥取地方の地震と活断層 | 鳥取大学教養部 1991年3月 | 著者 |
| S A | 作野友康 (農学部) | 木材科学講座 1 概論 森林資源とその利用 | 海青社 1998年3月 | 編者 |
| T A | 高橋国昭 (農学部) | 物資生産理論による落葉果樹 の高生産技術 | 農山漁村文化協会 1998年3月 | 編者 |
| T A | 武田修志 (教育学部) | 人生の価値を考える -極限状況における人間 | 講談社 1998年2月 | 著者 |
| T O | 鳥取大学農学部 経営管理学講座 | 中山間地域農業の再編と農協 21世紀につなぐ地域農業の デザイン- | 鳥取大学農学部経営管理 学講座 1998年3月 | 著者 |
| T O | 豊田 久 (教育学部) | 王権のコスモロジー (比較歴史学大系 1) | 弘文堂 1998年4月 | 執筆 |
| T S | 坪倉 操 (元農学部) | 微生物の世界 微生物とヒト・動物との かかわり | 養賢堂 1997年9月 | 編著 |
| Y A | 山口 巖 (教育学部) | 類型学序説 | 京都大学学術出版会 1995年10月 | 著者 |
| Y A | 山口 巖 (教育学部) | 山口巖教授停年記念論文集： ことばの構造とことばの 論理 | 日本古代ロシア研究会 1998年7月 | 著者 |
| Y O | 吉村伸夫 (教育学部) | 犯罪・刑罰・社会 英国社会は犯罪にどう対処 してきたか | 松柏社 1998年7月 | 訳注 |

《平成9年度中小コレクションの紹介》

平成9年度は、各部局から購入希望のあった次のものを購入しました。
すでに整理を終え、【 】内の場所に配架していますので、是非ご利用ください。

| | |
|---|------------------------|
| Dictionary of Natural Products. 7 Vols. Chapman & Hall刊 | 【1階第1閲覧室 439.03 : Dic】 |
| 小中学校国語科教育実践コレクション 1) 中学校国語科教育実践講座 全16巻+ビデオ2巻 ニチブン刊 | 【2階第2閲覧室 375.83 : Chu】 |
| 2) 西郷竹彦 文芸・教育全集 期, 期, 期 全18巻 恒文社刊 | 【2階第2閲覧室 375.8 : Sai】 |
| 文献選集 教育と保護の心理学 期 全12冊 クレス出版刊 | 【2階第2閲覧室 371.4 : Bun】 |
| 獣医臨床ビデオシリーズ インターズー刊 | 【1階ロビー展示ケース】 |
| 1) リッピンコットビデオシリーズ 全18巻 | |
| 2) 生涯教育ビデオシリーズ ・超音波診断法 全9巻 ・小動物の歯科治療 全7巻 | |
| 3) 臨床ビデオシリーズ ・内部寄生虫検査法 ~ 全3巻 ・血液検査, 骨髄穿刺 全3巻 | |
| ボルテックス 美の映像シリーズ NHKソフトウェア刊 | 【1階視聴覚室】 |
| 1) ルーブル美の回廊 LD7枚 | |
| 2) 美の殿堂・オルセー美術館 LD5枚 | |
| 3) 栄光のフィレンツェ・ルネサンス LD5枚 | |
| 4) ウィーン的美 LD3枚 | |
| 5) ヨーロッパ美術史 LD5枚 | |
| 新日本古典文学大系(全100巻のうち今年度は11冊購入) 岩波書店刊 | 【2階第3閲覧室 918 : Shi】 |
| 分県登山ガイド(全46巻のうち今年度は3冊購入) 山と溪谷社刊 | 【2階第4閲覧室】 |

平成9年度電気通信普及財団の寄附金 による購入図書資料について

図書館では、平成6年度を開始年度として、以来財団法人電気通信普及財団から「次の世代を担う学生に、電気通信に関する理解を深めてもらいたい」という趣旨によって寄附金を受け、図書を購入してきました。

ここに第4年目の平成9年度購入分を紹介します。リストは書名のABC順です。

- 1 受入冊数 188点(平成8年度は123点)
- 2 配置場所 総て閲覧室(それぞれ主題毎に分類・整理・配架)

3. 寄贈表示 タイトルページに「(財)電気通信普及財団寄贈」と表示

4. 利用形態 参考図書(辞書類)は禁帯出

参考図書以外は貸出可(学生の貸出期間:2週間)

| | 編 著 者 | 書 名 | 発行所・発行年 |
|----|--------------|---|----------------------|
| 1 | 佐藤理史 | アナロジーによる機械翻訳 | 共立出版 1997 |
| 2 | 塚崎健吾 | アニメーションの達人 Windows/Macintosh 版 | サリュート " |
| 3 | R.セジウィック | アルゴリズムC 1 基礎・整列 | 近代科学社 1996 |
| 4 | " | " 2 探索・文字列・計算幾何 | " " |
| 5 | " | " 3 グラフ・数理・トピックス | " " |
| 6 | 中川純一ほか | ビジネスマンのための情報革命キーワード97 | エーアイ出版 1997 |
| 7 | ビル・ゲイツ | ビル・ゲイツ未来を語る | アスキー " |
| 8 | 石田晴久 | 文書作成の技術(ゼロから学べるパソコン入門 2) | 岩波書店 " |
| 9 | 中島信行 | C & C++プログラマのためのI/O制御プログラミング入門 | CQ出版 " |
| 10 | 柴田望洋ほか | C++への道:解きながら学ぶプログラミング言語C++ | ソフトバンク " |
| 11 | 岡田至弘ほか | C言語で学ぶプログラミング | 昭晃堂 " |
| 12 | 鷺田小弥太 | 知的生活の新技术:探求・浪費・教養の快楽 | 三一書房 " |
| 13 | 日高哲郎 | 第2種情報処理技術者試験演習シリーズ 1 コンピュータ概論とハードウェア | 共立出版 1996 |
| 14 | " | " 2 ソフトウェアとシステム開発 | " " |
| 15 | " | " 3 アルゴリズムとデータベース | " " |
| 16 | " | " 4 情報処理システムとネットワーク | " " |
| 17 | " | " 5 プログラミング能力 C言語 | " 1997 |
| 18 | " | " 6 プログラム設計と内部設計 | " " |
| 19 | 小泉修 | デジタル情報化社会の衝撃:五年後、私たちの生活はこう変わる | 太陽企画出版 " |
| 20 | 高城剛 | デジタル日本人 | 講談社 " |
| 21 | 菱沼千明 | 電話番号のはなし:今、電話は最大の通信情報ツールだ | 電波新聞社 1991 |
| 22 | データベース振興センター | データベース白書1997 | データベース振興センター 1997 |
| 23 | 鄭碩奎 | デザイナーのためのPhotoShop アートワーク | ビー・エヌ・エヌ |
| 24 | 米田裕 | DOPING MAC「旧型マック」スーパー改良術!! | " |
| 25 | 薦田憲久ほか | エキスパートシステムの設計と開発 | ぶんか社 " |
| 26 | 前田明 | Excel 97 入門 (Office97 入門シリーズ) | 昭晃堂 " |
| 27 | 内田勝利 | ファイル変換ハンドブック:インターネット自由自在 for Windows 95 | ソシム " |
| 28 | ベクターデザイン | フリーソフト&シェアウェアPACK 5000 for MS-DOS/Windows 1995年前期版 | アイ・ディ・ジーコミュニケーションズ " |
| 29 | ベクターデザイン | フリーソフト&シェアウェアPACK 13000 for Windows/MS-DOS/TOWNS/X68000 | ベクターデザイン 1995 |
| 30 | 相坂一 | フリーソフト分類索引 NIFTY-Serve 96 | ベクターデザイン 1996 |
| 31 | 若山芳三郎 | 学生のためのExcel | アスキー " |
| 32 | 山本ひでお | ゲームで遊びながら覚えるパソコン基礎の基礎 Windows95 版 | 東京電機大学出版局 1997 |
| 33 | 大西正和 | 現代情報活用論 | ベストブック " |
| 34 | 金沢寛太郎 | 現代のメディア環境:通信空間と放送空間の変容 | 建帛社 " |
| 35 | ジョージ・P.ランドゥ | ハイパーテキスト:活字とコンピュータが出会うとき | 学文社 " |
| 36 | 塚越一雄 | はじめてのC++ Builder | ジャストシステム 1996 |

| | 編 著 者 | 書 名 | 発行所・発行年 |
|----|----------------------|--|-------------------------|
| 37 | 小山智史ほか | はじめてのコンピュータリテラシー：パソコン&ワークステーション | 共立出版 1997 |
| 38 | 今関等 | ハムのための特選オンラインソフトウェア | CQ出版 1995 |
| 39 | デビット・C. モシェラ | 覇者の未来 | アイ・ディ・ジ・コミュニケーションズ 1997 |
| 40 | インターネット弁護士協議会 | ホームページにおける著作権問題：現役弁護士が答えるQ&A | 毎日コミュニケーションズ " |
| 41 | 河村一樹ほか | 標準コンピュータ教科書 | オーム社 " |
| 42 | マルチメディア通信研究会 | 標準 Windows NT 教科書：ポイント図解式 | アスキー " |
| 43 | 北野宏明 | 遺伝的アルゴリズム 3 | 産業図書 " |
| 44 | メラニー・ミッチェル | 遺伝的アルゴリズムの方法（情報科学セミナー） | 東京電機大学出版局 " |
| 45 | 樺沢一之ほか | 医科系学生のためのコンピュータ入門 | 共立出版 " |
| 46 | | いっきにわかる・自作パソコン入門（別冊宝島 324） | 宝島社 " |
| 47 | T.ハイウッド | インフォ・リッチ：インフォ・プア：情報社会のグローバリゼーション | 敬文堂 " |
| 48 | 大串夏身 | インターネット時代の情報探索術 | 青弓社 " |
| 49 | 並木陽一郎 | 一週間でマスターするファイルメーカー Pro3.0 for Windows | 毎日コミュニケーションズ " |
| 50 | Peter van der Linden | ジャスト J A V A（サンソフトプレスシリーズ） | アスキー " |
| 51 | 菅原研次 | 人口知能（情報工学入門シリーズ 20） | 森北出版 " |
| 52 | 電通総研 | 情報ビックバン・日本の挑戦：「日本と日本人の未来を描く」フォーラムからの提言 | 電通 " |
| 53 | 情報処理学会 | 情報フロンティアシリーズ 1 UNIX 最前線 | 共立出版 1993 |
| 54 | " | " 2 数値予報 | " " |
| 55 | " | " 3 グループウェアのデザイン | " 1994 |
| 56 | " | " 4 かわりゆくプログラミング | " " |
| 57 | " | " 5 巨大データの世界 | " " |
| 58 | " | " 6 将棋とコンピュータ | " " |
| 59 | " | " 7 楽器とコンピュータ | " " |
| 60 | " | " 8 コンピュータで通信はこんなに変わる | " " |
| 61 | " | " 9 口ごもるコンピュータ | " 1995 |
| 62 | " | " 10 数学とコンピュータ | " " |
| 63 | " | " 11 パソコンでつきあう | " 1996 |
| 64 | " | " 12 インターネット時代の協創設計 | " " |
| 65 | " | " 13 ウィルス退治 | " " |
| 66 | " | " 14 人間に近づくコンピュータ | " " |
| 67 | " | " 15 みえない「イメージ」を見る | " " |
| 68 | " | " 16 宇宙開拓とコンピュータ | " " |
| 69 | " | " 17 読み書きコンピュータ | " 1997 |
| 70 | 梶谷哲也 | 情報学入門：人とマルチメディア | 新風社 1996 |
| 71 | 上林弥彦 | 情報科学の基礎理論（21世紀を指向した電子・通信・情報カリキュラムシリーズ B-2） | 昭晃堂 1997 |
| 72 | 竹田仁ほか | 情報科学とコンピュータ | 日本理工出版会 " |
| 73 | 落合洋文 | 情報化社会の虚像・実像：新しい社会をどう生きるか | ナカニシヤ出版 " |
| 74 | 吉井博明 | 情報化と現代社会 改訂版 | 北樹出版 " |
| 75 | 情報科学技術協会 | 情報検索の基礎 第2版 | 日外アソシエーツ " |
| 76 | 電通総研 | 情報メディア白書 1997年版 | 電通総研 " |
| 77 | 長谷川慶太郎 | 情報力：好奇心が「変化」をとらえる | サンマーク出版 " |

| | 編 著 者 | 書 名 | 発行所・発行年 |
|-----|------------------|--------------------------------|----------------|
| 78 | 水野博介ほか | 情報生活とメディア | 北樹出版 1997 |
| 79 | モーリーン・マランチュク | 情報センスを磨く時：情報の生産性を高める7つのステップ | ダイヤモンド社 " |
| 80 | ジョン・フェザー | 情報社会をひらく：歴史・経済・政治 | 勁草書房 " |
| 81 | 情報処理学会 | 情報処理ハンドブック コンパクト版 | オーム社 " |
| 82 | 田村浩一郎 | 情報処理パラダイム論序説：知の地平を見る | 森北出版 " |
| 83 | 廣瀬健ほか | 情報数学講座 1 応用論理 | 共立出版 1996 |
| 84 | " | " 2 情報代数 | " 1994 |
| 85 | " | " 3 離散構造 | " 1993 |
| 86 | " | " 4 計算の理論 | " " |
| 87 | " | " 5 言語と構文解析 | " 1995 |
| 88 | " | " 7 プログラム意味論 | " 1994 |
| 89 | " | " 8 プログラム検証論 | " 1995 |
| 90 | " | " 9 プログラム言語の基礎理論 | " 1997 |
| 91 | " | " 10 知識と推論 | " 1994 |
| 92 | " | " 11 符号と暗号の数理 | " 1993 |
| 93 | " | " 12 計算幾何学 | " 1994 |
| 94 | " | " 13 グラフィックスの数理 | " 1995 |
| 95 | " | " 14 最適化の手法 | " 1993 |
| 96 | 松村泰子ほか | 女性のパソコン利用と情報社会の展望（富士通ブックス） | 富士通経営研修所 1997 |
| 97 | ラジオライフ編集部 | 海賊ソフトの本（ゲームラボ別冊） | 三オブックス " |
| 98 | 石川忠久ほか | 漢字とコンピュータ | 大修館書店 " |
| 99 | B. ラグランド | 管理者のための2000年問題 | トッパン " |
| 100 | 辻三郎 | 感性の科学：感性情報処理へのアプローチ | サイエンス社 " |
| 101 | 黒崎政男 | カオス系の暗礁めぐる哲学の魚 | N T T 出版 " |
| 102 | チャールズ・ブラット | キーをたたく犯罪者たち | ゆまに書房 " |
| 103 | 村上則夫 | 高度情報化社会と人間：日常生活・情報・マルチメディア | 松籟社 " |
| 104 | スタン・フランクリン | 心をもつ機械：人工知能の誕生と進化 | 三田出版会 " |
| 105 | 稲垣耕作 | コンピュータ概説 | コロナ社 " |
| 106 | 青木由直 | コンピュータグラフィックス講義 | " " |
| 107 | 有賀正浩 | コンピュータ実習による情報処理演習 | 東海大学出版会 " |
| 108 | 資格試験研究会 | コンピュータの資格オールガイド '99 | 実務教育出版 " |
| 109 | 渡辺光好 | これから始める実践モバイル・コンピューティング | かんき出版 1996 |
| 110 | 小高知宏 | これならできる！Cプログラミング入門：C言語による問題解決法 | 森北出版 1997 |
| 111 | 林晴比古 | これならできるパソコン書齋整理術 | ソフトバンク " |
| 112 | アンパサンド | これならわかるマックDTP：入門&トラブル解決編 | ジャパン・ミックス 1996 |
| 113 | 飯田英明 | これならわかるPowerPoint97基本操作入門 | 技術評論社 1997 |
| 114 | 古郡廷治 | 言葉と言語処理（情報系教科書シリーズ 20） | 昭晃堂 " |
| 115 | F P A N A P C | Let's note ナビゲータ | ソフトバンク " |
| 116 | Jeremy Judson ほか | Macintosh Bible（原著6版の日本語版） | 技術評論社 " |
| 117 | 日英田仁 | Macのお医者さん：いざという時のために 改訂版 | ナツメ社 " |
| 118 | ランダル・E・ストロス | マイクロソフト・ウェイ：5%の超秀才たちが描く勝利への方程式 | ソフトバンク " |

| | 編 著 者 | 書 名 | 発行所・発行年 |
|-----|---------------------|---|--------------------|
| 119 | リザー・ロバック | マルチメディア・ビジュアルガイド | グラフィック社 1996 |
| 120 | 塚本芳和 | マルチメディア曼陀羅：未来社会の羅針盤 | 筑波書房 1997 |
| 121 | 苗村憲司ほか | マルチメディア社会の著作権 | 慶應義塾大学出版会 " |
| 122 | 吉崎正弘 | マルチメディア社会と法制度：何が変わり、何が生まれるのか | ダイヤモンド社 " |
| 123 | 青山一朗 | MICROSOFT ACCESS97 速攻レッスン：すぐ使えるリレーショナル・データベース | 工学社 " |
| 124 | 半田暢彦 | 未来を拓く情報科学 | リバティ書房 " |
| 125 | 塚越一雄 | MS-DOS 6.2 実践ガイド | 技術評論社 1995 |
| 126 | 古庄歩 | MS-DOS 6.2 知りたい機能で引ける本 | 技術評論社 " |
| 127 | 池田謙一 | ネットワーキング・コミュニティ | 東京大学出版会 1997 |
| 128 | 夏井高人 | ネットワーク社会の文化と法 | 日本評論社 " |
| 129 | 東京大学社会情報研究所 | 日本人の情報行動 1995 | 東京大学出版会 1997 |
| 130 | 日本経済新聞社 | 日経ニュースファイル：情報・通信産業 1997 | 日本経済新聞社 " |
| 131 | 中野馨 | 脳の情報処理 | 昭晃堂 " |
| 132 | 島健 | ニューラルネットワークとニューロデバイス | 森北出版 " |
| 133 | 石田晴久・土居範久 | OSシリーズ 1 OS概論 | 共立出版 1998 |
| 134 | " | " 2 OS雑学 | " " |
| 135 | " | " 4 MS-DOS | " 1990 |
| 136 | " | " 5 OS/2 | " " |
| 137 | " | " 6 Macintosh 増補版 | " 1988 |
| 138 | " | " 7 OS-9/68000 | " 1989 |
| 139 | " | " 9 Open VMS | " 1994 |
| 140 | " | " 11 VM | " 1989 |
| 141 | " | " 12 新しいOS | " " |
| 142 | 石田良平ほか | パソコンで学ぶ遺伝的アルゴリズムの基礎と応用 | 森北出版 1997 |
| 143 | maranGraphics, Inc. | パソコンとインターネット (ビジュアルbook) | オーム社 " |
| 144 | 高嶺一男 | パソコンを10倍楽しむソフト得ガイド | 日本能率協会マネジメントセンター " |
| 145 | 大重美幸 | パワーユーザーになりたい人の Excel 97: Windows 下巻・応用編 | スパイク " |
| 146 | 野沢直樹 | パワーユーザーになりたい人の Lotus 1-2-3 97: Windows | " " |
| 147 | Greg Simsic | Photoshop びっくりロゴデザイン 2 | エムディエヌコーポレーション " |
| 148 | 渡辺健一ほか | Pilotナビゲーションブック (Win PC ブックス) | 日経 BP 社 " |
| 149 | エドワード・ヨードン | プログラマーの復権：情報ビジネスの展望 | トッパン " |
| 150 | 黒川利明 | プログラミング言語の仕組み (情報科学こんせぶつ 2) | 朝倉書店 " |
| 151 | 佐藤知一ほか | プロジェクトマネージャ試験合格完全対策 98年版 | 経林書房 1996 |
| 152 | 新世代出版研究所 | QuarkXPressによる標準DTP入門講座 応用編 | 翔泳社 1997 |
| 153 | 八木敦 | ロータスアプローチ97完全制覇 (Windows パワーテキストシリーズ) | 日経 BP 社 " |
| 154 | 日暮雅道 | サイバースペース24時：ワールドドキュメンタリー | エムディエヌコーポレーション " |
| 155 | 堤大介 | 最新インターネット用語辞典 | 技術評論社 " |
| 156 | 大島邦夫 | 最新パソコン用語辞典 98-99年版 | " " |
| 157 | M. オローク | 3次元コンピュータ・アニメーションの原理 | トッパン " |
| 158 | アイバース・ピーターソン | 殺人バグを追い | 日経 BP 社 " |
| 159 | 藤本巻 | しっかりわかる Excel 97 (Useful guide for Windows) | 毎日コミュニケーションズ " |

| | 編 著 者 | 書 名 | 発行所・発行年 |
|-----|-----------------|---|--------------------------|
| 160 | | 新・電子立国 第1巻 ソフトウェア帝国の誕生 | 日本放送出版協会 1996 |
| 161 | | " 第2巻 マイコン・マシンの時代 | " " |
| 162 | | " 第3巻 世界を変えた実用ソフト | " " |
| 163 | | " 第4巻 ビデオゲーム・巨富の攻防 | " 1997 |
| 164 | | " 第5巻 驚異の巨大システム | " " |
| 165 | | " 別巻 ソフトウェア・ビジネス | " " |
| 166 | 鷲田小弥太 | 新・学問のすすめ：超・情報化社会の知の活用術 | マガジンハウス " |
| 167 | 情報教養研究会 | 新・情報社会人のすすめ | ぎょうせい " |
| 168 | 河村知信 | システムアナリスト試験合格完全対策 97年版 | 経林書房 " |
| 169 | Paul Taylor | システム管理者のための WINDOWS NT4 リファレンスブック | インターナショナル・パブリッシング・ジャパン " |
| 170 | 牧野美佐子ほか | 詳説 OS/2 Warp4：基礎から使いこなしまでやさしくわかる Warp4のすべて | アイ・ディ・ジー・コミュニケーションズ " |
| 171 | 松本正雄ほか | ソフトウェア開発・検証技法 | 電子情報通信学会 " |
| 172 | 岩村益典 | 手にとるようにわかる Excel 95(手にとるように・・・シリーズ2) | 秀和システム 1996 |
| 173 | 並木光男 | 天文フリーソフトウェア集2：過去と未来の日食・月食を探る | 誠文堂新光社 " |
| 174 | 久野靖 | UNIX による計算機科学入門 | 丸善 1997 |
| 175 | 越智裕之 | UNIX 入門演習 | コロナ社 " |
| 176 | 武田多美子 | Visual Age C++実践編 ビジュアル・プログラミング cookbook | トッパン " |
| 177 | コンピュータ用語辞典編集委員会 | 和英コンピュータ用語大辞典 第2版 | 日外アソシエーツ " |
| 178 | フレッド・ムーディ | わたしは電子の歌をうたう：マイクロソフトがマルチメディアに挑んだ1年 | 早川書房 " |
| 179 | 高橋浩子 | Windows95 ファイルがわかればみえてくる | 技術評論社 " |
| 180 | 藤本巻 | Windows95 ヘルプファイル作成技法 (Computer today ライブラリ 36) | サイエンス社 1996 |
| 181 | 大村淳ほか | Windows95 裏テクニク | 技術評論社 " |
| 182 | 穴倉幸則 | Windows95 全機能 Bible | 技術評論社 " |
| 183 | T.Q. パムほか | Windows NT：マルチスレッドプログラミング入門 | トッパン " |
| 184 | 江原淳ほか | やさしい情報処理論(有斐閣アルマ) | 有斐閣 1997 |
| 185 | 今井信行 | ゼロからはじめるパソコン 正調派入門法 (Windows business lib.) | エーアイ出版 " |
| 186 | 福島巖 | 「図解」パソコンデータの互換性が簡単にわかる本 | フットワーク出版 " |
| 187 | EDP | ニフティサーブ英会話フォーラムハイパー英語辞典 Windows95/Macintosh 対応 | 技術評論社 (CD-ROM) " |
| 188 | ネットワークス編集部ほか | 秀作フリーソフトウェア100選 Macintosh 版 | アスキー (CD-ROM) 1995 |

ミニ・トピックス

インターネット接続パソコンを設置

本年度の教育改善推進費によって、インターネット接続用パソコン3台が一階情報検索コーナーに設置されました。このパソコンは、各種インターネット上の学術情報へのアクセスはもとより、留学生に母国の最新情報の入手や電子メール等による情報交流のための便益を提供することを目的としています。おおいにご利用ください。

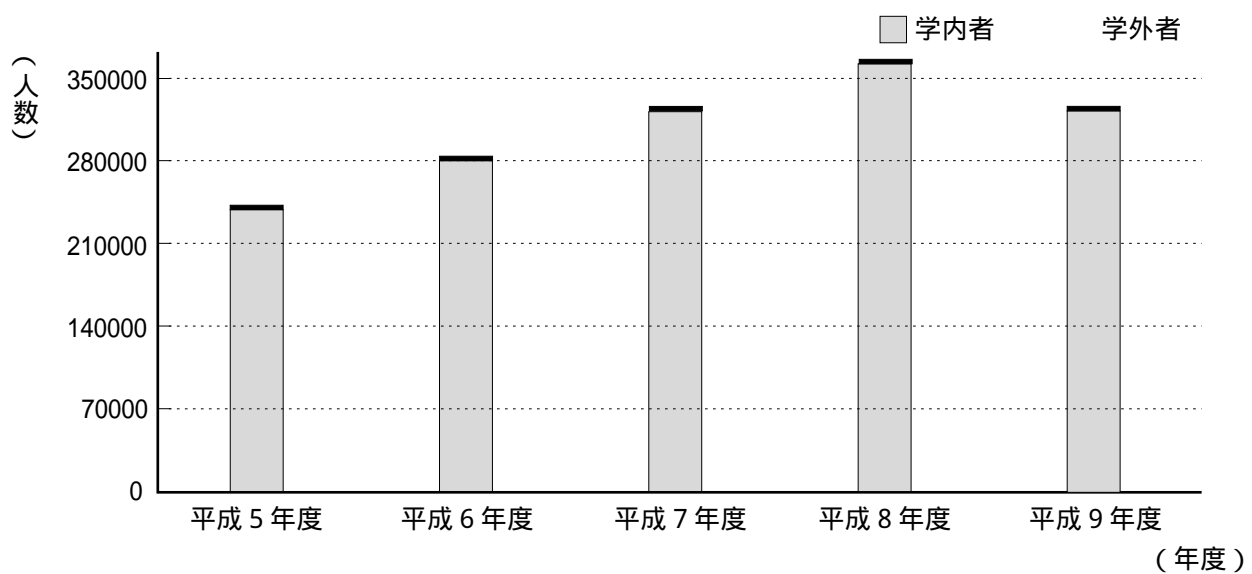


附属図書館利用状況（中央館）

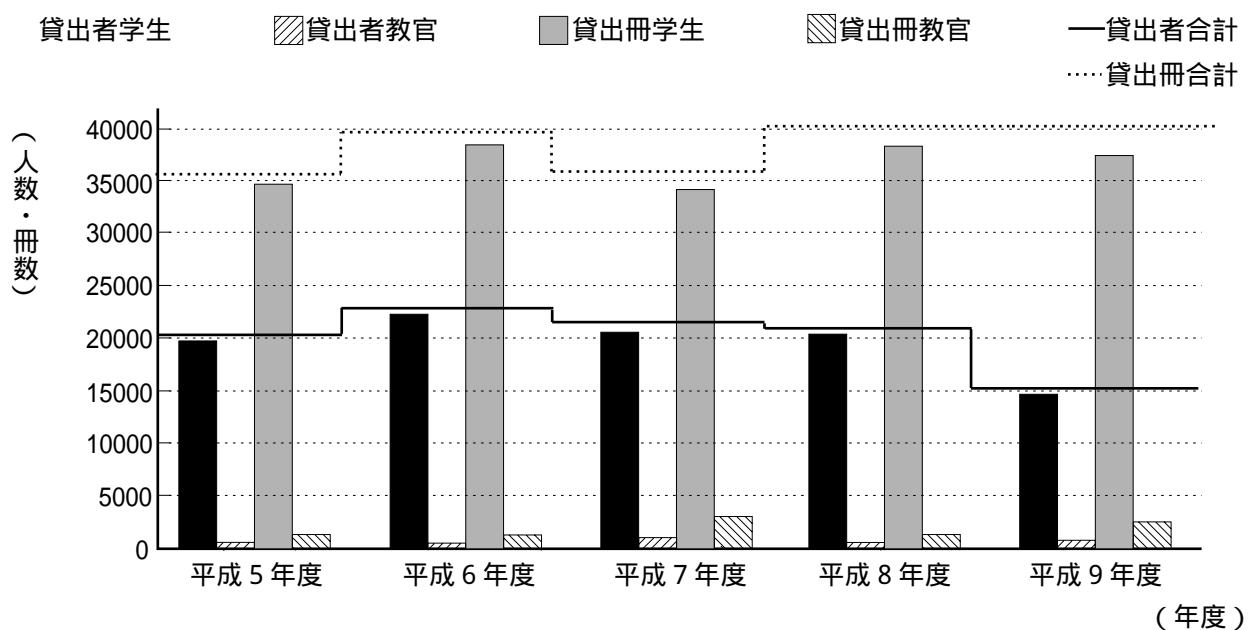
年度別開館日数

| 平成5年度 | 平成6年度 | 平成7年度 | 平成8年度 | 平成9年度 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 262日 | 260日 | 262日 | 263日 | 269日 |

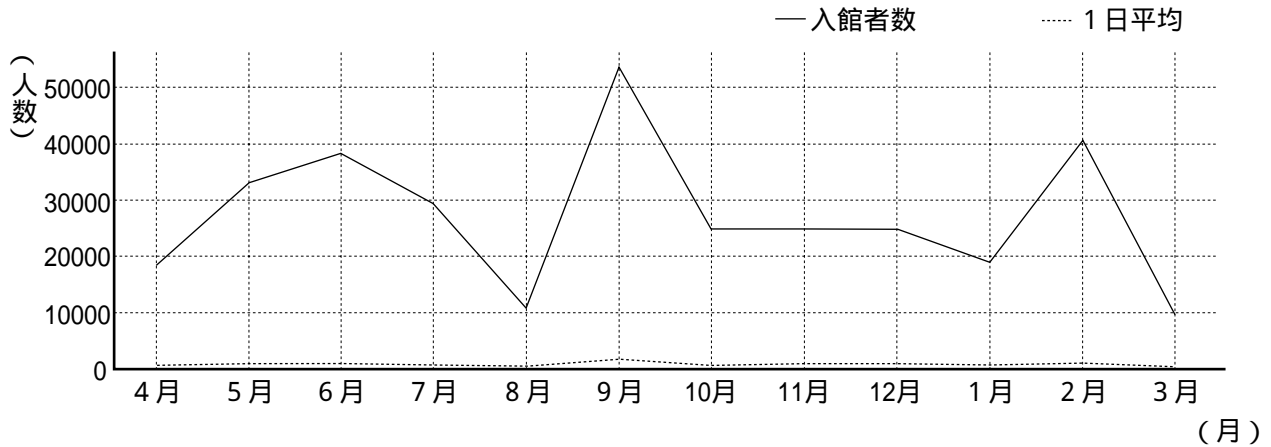
年度別入館者数



年度別図書貸出数



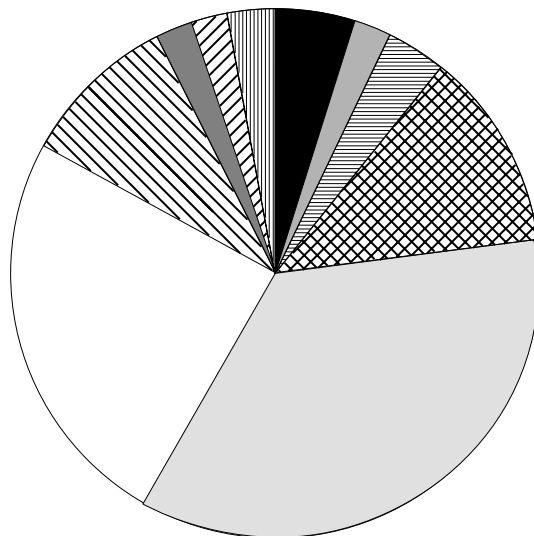
平成9年度月別入館者数



平成9年度分類別図書貸出冊数

- 0 総記
- 1 哲学
- 2 歴史
- 3 社会科学
- 4 自然科学
- 5 工学
- 6 産業
- 7 芸術
- 8 語学
- 9 文学

| 分類 | 貸出冊数 |
|--------|---------|
| 総数 | 40,142冊 |
| 0 総記 | 1,838 |
| 1 哲学 | 829 |
| 2 歴史 | 1,417 |
| 3 社会科学 | 4,702 |
| 4 自然科学 | 14,309 |
| 5 工学 | 9,419 |
| 6 産業 | 4,476 |
| 7 芸術 | 994 |
| 8 語学 | 978 |
| 9 文学 | 1,180 |



平成10年度図書館カレンダー（その2）

| 曜日 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|----------|-----------|----------------------|----------|------------|--------------------|
| 日 | | 1 | | | | |
| 月 | | 2 大学祭 | | | 1 | 1 |
| 火 | | 3 文化の日 | 1 | | 2 | 2 |
| 水 | | 4 | 2 | | 3 | 3 |
| 木 | 1 後期開講 | 5 | 3 | | 4 | 4 |
| 金 | 2 | 6 | 4 | 1 元旦 | 5 | 5 |
| 土 | 3 | 7 | 5 | 2 | 6 | 6 |
| 日 | 4 | 8 | 6 | 3 | 7 休日開館 | 7 |
| 月 | 5 | 9 | 7 | 4 | 8 後期定期試験開始 | 8 |
| 火 | 6 | 10 | 8 | 5 | 9 | 9 |
| 水 | 7 | 11 | 9 | 6 | 10 | 10 |
| 木 | 8 | 12 | 10 | 7 | 11 建国記念の日 | 11 |
| 金 | 9 | 13 | 11 | 8 | 12 | 12 図書整理日 |
| 土 | 10 体育の日 | 14 | 12 | 9 | 13 | 13 |
| 日 | 11 | 15 | 13 | 10 | 14 休日開館 | 14 |
| 月 | 12 | 16 | 14 | 11 | 15 | 15 |
| 火 | 13 | 17 | 15 | 12 | 16 | 16 |
| 水 | 14 | 18 | 16 | 13 | 17 | 17 |
| 木 | 15 | 19 | 17 | 14 | 18 | 18 |
| 金 | 16 | 20 | 18 | 15 成人の日 | 19 | 19 |
| 土 | 17 | 21 | 19 | 16 | 20 | 20 |
| 日 | 18 | 22 | 20 | 17 | 21 休日開館 | 21 |
| 月 | 19 | 23 勤労感謝の日 | 21 | 18 | 22 | 22 春分の日 |
| 火 | 20 | 24 | 22 | 19 | 23 | 23 |
| 水 | 21 | 25 | 23 天皇誕生日 | 20 | 24 | 24 |
| 木 | 22 | 26 | 24 冬季休業日 ~ 1/9 | 21 | 25 | 25 |
| 金 | 23 | 27 | 25 図書整理日 (開室しない) | 22 | 26 | 26 春季休業日 ~ 3/31 |
| 土 | 24 | 28 | 26 | 23 | 27 | 27 |
| 日 | 25 | 29 | 27 | 24 | 28 休日開館 | 28 |
| 月 | 26 | 30 図書整理日 | 28 年末年始の 休館 ~ 1/4 | 25 | | 29 |
| 火 | 27 | | 29 | 26 | | 30 |
| 水 | 28 | | 30 | 27 | | 31 図書整理日 |
| 木 | 29 | | 31 | 28 | | |
| 金 | 30 図書整理日 | | | 29 図書整理日 | | |
| 土 | 31 | | | 30 | | |
| 日 | | | | 31 | | |
| 月 | | | | | | |

- (開館時間)
- 9:00~20:00
 - 10:00~17:00
 - 9:00~17:00
 - 図書整理日
 - (一般閲覧室・ブラウジングコーナーのみ開室)
 - 休館日

鳥取大学附属図書館報 第92号 (1998年10月発行)

編集・発行：鳥取大学附属図書館 〒680-8554 鳥取市湖山町南4丁目101 0857-31-6728
ホームページアドレス <http://www.lib.tottori-u.ac.jp>